

ぶんししゅう さくひんほしゅう 文詩集「ひまわり」作品募集について

1 テーマ 「自分やまわりの生活を見つめよう」

2 内容

- ・未来に向かって伸びていく子どもの豊かな夢や書きたいことが、読む人に分かるように書かれているもの。
- ・学校や家庭での生活などで、見たり聞いたり行ったりして感動したこと、考えたことなどをくわしく見つめて書いたもの。
- ・興味をもって調べたり観察したりしたことを、図やクラブ、絵などを使って、科学的な目でみつめて書いたもの。また、調査、観察中の苦労や工夫、成功したときの喜びや驚きなどを生き生きと表現したもの。

3 種類

(1) 生活文…従来の生活作文・日常生活に題材を求めた説明的生活文
(研究記録・観察文・報告文・風土記・意見文など)

(2) 詩



4 留意点

- <低学年>・見たこと、聞いたこと、したこと、心に浮かんだことなどを、素直にのびのびと書く。
・先生や友達、家の人に話すように、自分のことばで書く。
- <中学年>・見たこと、聞いたこと、したこと、感じたこと、考えたことなどをありのままに書く。
・本当に書きたいことを、読む人に分かるように書く。
- <高学年>・学校や家庭・地域の生活などをよく見つめ、その中から値打ちのある題材を見つけて書く。
・対象を自分の目でとらえ直し、感動したことを、読む人の心を打つように書く。

5 字数 ◎題名、学年、氏名を欄外に書くこと

(1) 生活文(題名・学年を除いた本文の字数とする)

<1年>	1200字以内	(B4サイズ 400字詰め原稿用紙3枚程度)
<2・3年>	1200～1600字	(B4サイズ 400字詰め原稿用紙4枚程度)
<4・5・6年>	1600～2400字	(B4サイズ 400字詰め原稿用紙6枚程度)

(2) 詩

※字数の制限はない。(B4サイズ原稿用紙に書く)

原稿用紙の書き方は、
次のページをみてください。

6 留意点

- ・作品の右肩をホチキスで留める。
- ・自筆で丁寧に書く、またはデータで入力したものを提出する。
- ・句読点を効果的に使い、読みやすくする。
- ・不用意なカタカナ書き(ゴミ、ビックリなどはひらがな表記)・当て字・流行表現は正しい表記にする。
- ・「?」「!」「-」は原則として使わない。内言の「」はできるだけ避ける。
- ・擬態語はひらがな、擬声語はカタカナで書く。ただし詩においては作者の表現を優先する。
- ・漢字の使用・会話表記・送りがな・原稿用紙の使い方は、教科書に準ずる。
- ・詩の句読点については、よく吟味し、むやみに使わないようにする。

例＜400字詰め原稿用紙 生活作文の書き方＞

題名
学年
名前

1行目 題名
2行目 学年・名前
3行目から本文

例＜400字詰め原稿用紙 説明的生活文の書き方＞

資料
写真…鮮明なコピーを貼る。

題名
学年
名前

図・表・グラフなど…パソコンで作成して見やすくレイアウトする。

資料② <キャプション>

<キャプション>

1行目 題名
2行目 学年・名前
3行目から本文

例＜400字詰め原稿用紙 詩の書き方＞

一番上のマスから書く。

題名
学年
名前

1行目 題名
2行目 学年・名前
3行目から本文

下の5マスは斜線を引くなどして、使用しない。